

お客様各位

2023年1月11日  
北興化学工業株式会社

## 変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

此の度、2023年1月11日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

### 農薬名

第7290号 *カスミン液剤*

### 適用変更の内容

- ・ 作物名「なばな類」を追加する。

#### 【変更後の適用内容（追加される作物のみ）】

作物名	適用病害名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	カスガマイシ ンを含む農薬 の総使用回数
なばな類	軟腐病	500倍	100～ 300L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内

#### 【変更後の使用上の注意事項】

##### 変更事項

- 杉（特に苗木）、れんこん及び大豆には薬害を生じるおそれがあるのでかからないように注意して散布すること。特に空中散布及び無人航空機による散布に際しては散布区域の設定に注意すること。
- キウイフルーツのかいよう病に対して樹幹注入する場合
  - ◆ 主幹が棚下で分岐している樹では効果が不安定であり、また激しい薬害を生じるので使用をさけること。なお、1本仕立ての主幹の樹であっても薬害を生じる場合があるので留意すること。
  - ◆ 処理方法
    - ・ 主幹の地際から高さ10～30cm程度の部位に、ドリルを用いて直径5mmの注入孔を水平にあけること。孔は幹の中心部を貫通させ、深さはなるべく反対側の皮層部の際までとすること。
    - ・ 孔内の木屑をかきだして除き、注入孔の入口をゴム栓で密封すること。
    - ・ 本剤の所定量を注入器具セットの薬液容器に入れ、棚面に吊し、薬液容器の下部にあるゴム栓に通気針を刺すこと。
    - ・ 薬液が細管の先端に連結している注射針の先に達したら、細管内の気泡を抜き、幹の注入孔を封じているゴム栓に針を刺し込むこと。針はゴム栓の下方から上方へ上向きに刺し、細管の針に連結する部分をやや弛ませて気泡が抜けやすくすること。
    - ・ 薬液の注入に要する時間は、通常2L当たり2時間30分前後である。但し、夕方になると急速に薬液を吸入する力が低下するので、早朝から処理を開始し、その日の内に所定量の薬液を吸引させること。
    - ・ 注入が終了したら器具は回収すること。

次ページへ続く

前ページから続く

- ・ 注入孔を密封しているゴム栓は梅雨明け後にはずす。できれば塗布剤を塗りカサの発達を促して注入孔をふさぐこと。
- ・ 新たな感染などにより再処理が必要な場合には、前年の注入孔をさけ、高さや位置を変えること。

#### 追加事項

- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら ([農薬製品・安全データシート \(SDS\) 一覧](#)) からご参照下さい。

以上